



# 道の駅よこはまエリア地方創生拠点形成 H30年度取り組み状況

資料 1



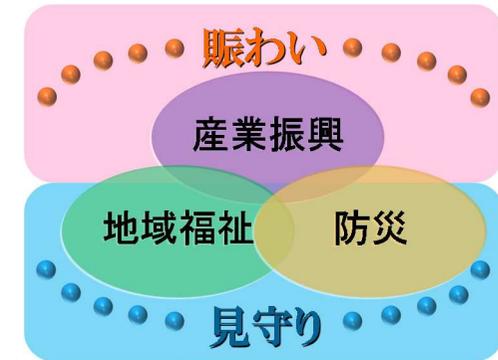
平成30年12月25日  
横浜町・青森県

道の駅よこはまエリア  
地方創生拠点完成イメージ

# 道の駅「よこはま」エリア地方創生基本計画の概要

- 道の駅「よこはま」を含む周辺エリアを地域資源として捉え、“**賑わい**”と“**見守り**”を基本コンセプトとする「**産業振興**」+「**地域福祉**」+「**防災**」の3機能を有する「**地方創生拠点の形成**」を目指す。
- 横浜ICと道の駅「よこはま」エリアとの連携**により、**下北半島縦貫道路の休憩・情報施設**としての活用を図る。

※道の駅「よこはま」エリア・・・小中学校やガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどの施設が集積する道の駅を含めたエリア。既存施設の有効活用が可能。



“賑わい”と“見守り”を基本コンセプトとして、3機能を有する「地方創生拠点」の形成

## 賑わい

### 産業振興「道の駅」 ⇒ 交流人口の拡大・地域経済の活性化

- ① 地域間や産官学と連携した観光企画の強化
- ② 買物や休憩、憩いで賑わう空間づくり
- ③ 地域の特産品によるオリジナル商品開発・ブランド化
- ④ 集荷サービス等による直売所の充実



### 地域福祉「道の駅」 ⇒ 安全・安心な住民サービスの提供

- ⑤ 高齢者など住民への宅配サービス
  - ⑥ 道の駅への送迎サービス
- 【集荷・宅配サービスと同時に見守り・声かけの効果も】



## 見守り

### 防災「道の駅」 ⇒ 地域防災力の強化（広域防災の後方支援）

- ⑦ 災害時の受け入れ体制づくり
- ⑧ 防災訓練やPR活動を通じた住民の防災意識の醸成



# 施策① 観光企画の強化

## 取組の方向性

駐車場の拡張により大型車両が立ち寄りやすくなる契機を活かし、観光客や来訪者を増やす企画提案や受け入れ体制づくりを行う。

## 計画の内容

- ・ 観光ルート、観光企画の提案
- ・ 産官学と連携した観光素材発掘（横浜町ファンづくり）
- ・ 受入れ体制の充実
- ・ レストランの魅カアップのために加工グループとコラボ



最終目標年度：H32年度  
現在の達成度 60%

## ○昨年度の取り組み

### ○観光ルートの提案

- ・ 函館アフターデスティネーションキャンペーン実施  
道の駅での函館関連商品の販売や函館市での観光PR
- ・ 上十三・十和田湖広域定住自立圏観光推進協議会  
パンフレット作製配布

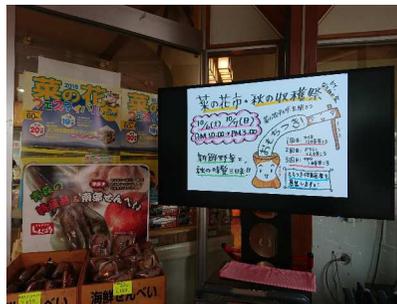
### ○受け入れ体制の充実

- ・ 電子看板設置  
（観光PR動画、施設やイベント等の情報発信可能に）
- ・ 多言語のレストランメニュー表作成

### ○レストランの魅カアップ

- ・ インターンシップの受け入れによるレストランの提案
- ・ レストラン視察  
（宮城県道の駅2施設）

電子看板を活用し  
イベントをPR



## ○今年度の取り組み予定

広域観光ルートを  
提案したパンフ

### ○観光ルート、観光企画の提案

- ・ 上十三・十和田湖広域定住自立圏観光推進協議会  
のパンフレット作製<H29~継続>  
5つのコースの広域観光ルートを提案したパンフ  
作成し、広域に配布。



- ・ しもきたTABIあしすとの下北半島旅ガイド「ぐるりんしもきた」による  
観光情報提供とバスツアー実施<継続>  
横浜町を含む下北の市町村の観光情報盛りだくさんの旅ガイドブック  
の配布及び1日周遊コース（5コース）のバスツアーを実施。

### ○受入れ体制の充実

- ・ 電子看板を活用したPR実施<H30新規>  
町及び道の駅のイベントの事前PR及び施設や産業のPRを動画や静止画  
にて町内外から道の駅を訪れる来客に広報を実施。

### ○レストランの魅カアップ

- ・ 横浜なまこフェアの開催（12月）<継続>
- ・ レストランメニューの検討<新規>



◀ なまこフェア  
で提供される  
なまこ茶漬け

# 施策② 買物や休憩、憩いで賑わう空間づくり

## 取組の方向性

道の駅と三保野公園、交流館を活用し、ゆっくりと滞在できる環境を整備し、道路利用者や地域の方々に賑う空間を創出する。

## 計画の内容

- 三保野公園や交流館の利活用
- 高齢者はじめ来訪者が休憩できる空間づくり
- イベントや催事などの企画の充実
- レストランの魅力アップ【再掲】



最終目標年度：H32年度  
現在の達成度 75%

## ○昨年度の取り組み

### ○イベントや催事などの企画の充実

- 道の駅で、加工団体が交代で毎月イベントを開催。

## 今年度、実施ミニイベント

実施月	イベント名	イベント概要
7月	「菜の花市」	新鮮夏野菜の対面販売 ソフトクリームに菜の花はちみつかけ放題 韓国風ホットドック、ポテトチップス じゃがナゲット
9月	じゃがいも箱入り販売	メイクイン・きたあかり・紅あかりの箱売り 彼岸団子販売PR、かぼちゃソフト販売開始
10月	収穫祭	餅つき体験&販売 秋野菜の直売、メイクイン詰め放題 寿郎餅のあったか汁、はちみつ大瓶格安販売 かぼちゃを使った加工品販売
12月	クリスマスフェア	クリスマス期間限定商品の販売 ツリーパン、クリスマスシフォンケーキ ハニーナッツとドライフルーツはちみつ 焼き芋、豚の角煮
1月	節分フェア	豆を使った加工品販売
2月	バレンタイン♡フェア	バレンタイン手作りお菓子販売
2月	ひなまつりフェア	ひなまつり雛壇展示 ひなまつりにちなんだ加工品販売
3月	ホタテ稚貝フェア	稚貝の大袋販売

## ○今年度の取り組み予定

### ○三保野公園や町の施設の利活用

- 道の駅周辺案内看板の設置<H30新規>  
ドライブの疲れを癒してくれるスポットである三保野公園やよこはま温泉へのアクセス等を案内する看板を道の駅敷地に設置。

商工会女性部と菜の花会による環境づくり



### ○来訪者が休憩できる空間づくり

- 道の駅エントランスに花のプランターを設置<H30新規>  
町商工会女性部と菜の花会がボランティアで、プランターに花を寄せ植えしエントランスに設置し、来訪者へ安らぎを与える環境づくり。



### ○イベントや催事などの企画の充実

- 道の駅で、加工団体が交代で毎月イベントの継続開催<H29～継続>  
レストランのフェア参画検討
- 館鼻岸壁朝市（八戸）や、産直施設を視察研修<H30新規>  
県内で一番の集客がありにぎわう市場では、販売・声掛け・陳列の仕方や、行列する商品等について、また、他産直施設においても工夫している点に注意を払いながら視察し、今後、自分たちの売り場等に生かせるようにする。



▲館鼻岸壁朝市（八戸市）

### • 青森県内道の駅フェアへの参加・視察<H30新規>

道の駅もりたで開催の県内の道の駅フェアに参加し、物販を通して、今後当道の駅で開催する際の参考のため、イベントの運営・開催方法を視察。

H30県内道の駅フェア▶  
道の駅もりたでの開催



# 施策③ 特産品による商品開発・ブランド化

産業振興

## 取組の方向性

これまでの開発した商品のPR活用と、専門家や地域と連携した「地元の食材を活かした商品開発・ブランド化」を推進する。

## 計画の内容

- 魅力ある商品開発（6次産業化の強化）
- PRや売り場の工夫・改善



最終目標年度：H32年度  
現在の達成度 75%

## ○昨年度の取り組み

### ○魅力ある商品開発（6次産業化の強化）

- 専門家の助言を受け魅力ある商品開発検討会及び勉強会開催
- 加工品開発のためのアンケート調査実施
- より良い加工品づくりのための大学生と担い手との意見交換
- マーケティング調査のためのイベント出展
- ミニイベント時で新たな商品開発をし販売
- 地元小学生考案商品の商品化

### ○PRや売り場の工夫・改善

- なたねの会のチラシやリーフレットを作成  
イベント出店時配布。
- POP講習会の開催



▲インターン学生による加工グループからの聞き取り調査

## ○今年度の取り組み予定

### ○魅力ある商品開発（6次産業化の強化）

- 商品ラベルプリンター導入<H30新規>  
商品ラベルのロットを大量に抱えず、いろいろ試してラベル作成が可能なプリンターを道の駅に導入。
- 既存商品のブラッシュアップ<H29～継続>  
容器、ラベル、パッケージ等をより消費者が手に取りやすいものへ検討し変更。
- 地元子供たちの絵をもとに新商品開発<H29～継続>  
直売所の売り場環境づくりで書いていただく小学生の絵をもとに、新商品につながる試作品を製作。

### ○PRや売り場の工夫・改善

- 売り場を季節感あるディスプレイで飾る手作り講習会の開催<H30新規>
- インターンの大学生による特産物加工品に関するガイドブック作成<H30新規>  
道の駅の売り場や町外での物販の際に、関係者すべての人が、加工品の良さやこだわりの知識を共有し、お客様に伝えることができるような内容を記載したガイドブックを大学生に取りまとめしていただき作成する。

▼ラベルプリンター



ミニイベント時のディスプレイ▶



▲手作り講習会

# 施策④ 直売所の充実（地産地消）

産業振興

## 取組の方向性

道の駅の目玉「産直」の扱う品目と品揃えを充実し、来客数増加と地域産業の活性化を図る。

## 計画の内容

- 売り場の工夫・改善【再掲】
- 集荷サービスの提供



最終目標年度：H32年度  
現在の達成度 90%

## ○昨年度の取り組み

### ○集荷サービスの提供

- 産直組織の「なたねの会」へサービス業務を委託。
- ぐるっと隊（2名）で、車両を借り上げ使用し、週3回稼働。

### ○売り場の工夫・改善

- 野菜の種類ごとの陳列の実施。
- 道の駅に来る環境づくり（絵画の展示）



▲野菜売り場の児童  
絵画展示

## ○今年度の取り組み予定

### ○集荷サービスの提供＜H28～継続＞

- 「(株)よこはまロマン創社」へサービス業務を委託。
- 道の駅職員がぐるっと隊として、リース車両を使用し、道の駅営業日全日にてサービス提供。
- 集荷宅配サービス専用車（軽自動車）を導入。
- サービス専用携帯電話の導入。

導入したサービス  
専用車両



### ○売り場の工夫・改善

- 野菜の種類ごとの陳列及び清潔な売り場づくり＜H29～継続＞
- 道の駅に来る環境づくり（絵画の展示）【再掲】＜H29～継続＞
- 売り場づくり等に関して専門家による教示。＜H30新規＞  
農水省選定「地産地消の仕事人」で、全国の産直に精通している方から、道の駅の売り場等につきアドバイスいただく。

- 出荷者を増やす目的のセミナーと、現出荷者の意識向上と販売戦力を高めるためのセミナーを開催＜H30新規＞

### ○冬場の品薄時の売り場づくり

- 県内産地直売施設間の商品交流検討及び実施＜H30新規＞
- 冬期の不足野菜の仕入れの検討および実施＜H30新規＞



▲産直とわだから仕入れた野菜の売り場

	集荷サービス 利用比較							
	件数		高齢者の利用者数		集荷額		コンテナ数	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30
8月	14	23	11	22	304,090	346,990	38	92
9月	14	21	14	20	120,850	274,890	38	67
10月	29	17	22	17	292,530	118,240	77	54
11月	7	9	6	8	48,920	77,080	19	29
計	64	70	53	67	766,390	817,200	172	242
月平均	16	18	13	17	191,598	204,300	43	61

# 施策⑤ 高齢者など住民への宅配サービス

## 取組の方向性

一定のニーズがあり、今後も増加が見込まれることから、既存サービスとの棲み分けや連携を考えながら、実証実験で導入を検討する。

## 計画の内容

- ・ 宅配サービスの提供
- ・ 宅配サービス先の拡充調査



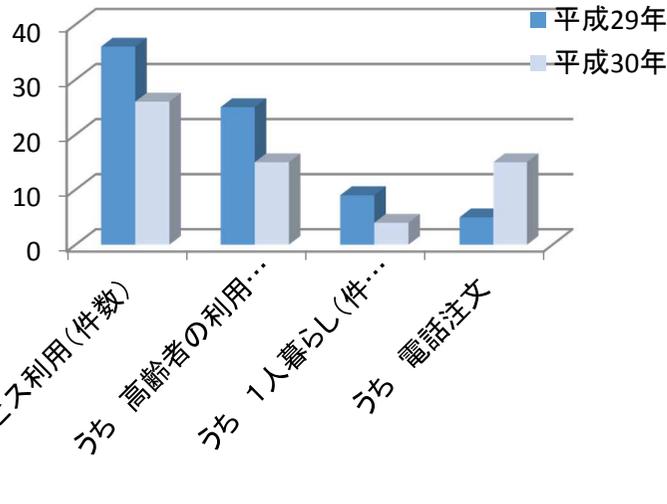
最終目標年度：H32年度  
現在の達成度 75%

## ○昨年度の取り組み

### ○宅配サービスの提供

- ・ 道の駅にある商品（商品カタログ掲載）を宅配（無料）
- ・ 温泉や役場ロビーで移動販売を実施（無料）
- ・ 道の駅で購入した重い荷物を自宅まで配達（無料）
- ・ 高齢者の利用者について、利用状況を把握し、見守りを実施。

### 8～11月のサービスの利用状況の比較



※電話注文金額は、H28年5,312円、H29年54,879円であり、道の駅購入品の配達は減少しているが、電話注文の件数・金額増の状況から、サービスが浸透して来ていると思われる。

## ○今年度の取り組み予定

### ○宅配サービスの提供<H28～継続>

- ・ 道の駅にある商品（商品カタログ記載）を宅配（無料）
- ・ 温泉や役場ロビーで移動販売を実施（無料）
- ・ 道の駅で購入した重い荷物を自宅まで配達（無料）
- ・ 高齢者の利用者については、利用状況を把握し、見守りを実施
- ・ 宅配サービスのPR（チラシの毎戸配布、移動販売先近隣への周知）
- ・ 社会福祉協議会の要請による、高齢者が集まる場「いきいき教室」開催時での移動販売（3地区）
- ・ 日用品の宅配についての検討



### 《昨年度との変更点》

- ・ 効率かつ継続実施の可能性を高めるため、サービスの業務受託者を「なたねの会」から「(株)よこはまロマン創社（道の駅菜の花プラザ）」へ変更。
- ・ 道の駅営業日の全日でサービス提供可能に。
- ・ 専用携帯電話の設置により、移動中でも連絡可能に。

	移動販売 利用比較							
	実施回数		高齢者の利用者数		売上額		売上手数料(15%)	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30
8月	11	12	144	144	137,230	99,090	20,585	14,864
9月	8	9	30	45	68,850	57,000	10,328	8,550
10月	9	8	65	40	95,170	55,510	14,276	8,327
11月	8	10	67	45	80,150	63,590	12,023	9,539
計	36	39	306	274	381,400	275,190	57,210	41,279
月平均	9	10	77	69	95,350	68,798	14,303	10,320

# 施策⑥ 道の駅への送迎サービス

## 取組の方向性

高齢者のニーズが高く、手にとって商品を選び・楽しみたいという声も多いことから、類似サービスや競合店舗と共存できる送迎サービスを構築。

## 計画の内容

- 送迎サービスの提供（高齢者への声かけ、見守りサービス含む）



最終目標年度：H32年度  
現在の達成度 60%

## ○昨年度の取り組み

### ○送迎サービスの提供

- 温泉&お買い物バス運行  
(4月から本格的運行開始)

## ○今年度の取り組み予定

### ○送迎サービスの提供

- 温泉&お買い物バスを運行<H28~継続>
- 利用者等（高齢者）への意見調査実施<H30新規>



▲道の駅で買い物を終えて乗り込む利用者の様子

平成29年4月からの老人福祉センターバス運行時間が変わります！

『横浜町老人福祉センター所長』

★バスの利用できる人は、70歳以上の方になります。お風呂無料券もご利用できます。

北地区（月曜日）		本町地区（火曜日）		南地区（水曜日）	
乗降場所	時間	乗降場所	時間	乗降場所	時間
佐賀商店さん前	9:50	トレーニングセンター前	9:40	笹野和男さん宅前	9:30
有畑バス停	9:52	石崎正敏さん宅前	9:44	鳥山真人さん宅前	9:38
鶏沢バス停	9:54	旧よこはま保育所バス停	9:46	老人憩の家前	9:39
大豆田バス停	9:56	緑町バス停	9:47	小笠原猛さん宅前	9:41
二木石次郎宅前	9:58	旧農協スタンド前	9:48	ちどり町入口	9:42
檢木北バス停	10:00	新丁バス停	9:49	中吹越バス停	9:44
白浜源治さん宅前	10:01	青い森信用金庫前	9:50	吹越バス停	9:46
ふれあいセンター	10:05	新町バス停	9:51	旧南部小学校前バス停	9:47
		塚名平バス停	9:52	外井礼吉さん宅入口	9:48
		大澤商店前	10:00	旧中山キヌさん宅南側	9:50
		ふれあいセンター	10:05	入谷タケさん宅前	9:56
				向沢入口	9:58
				畠山岩三郎さん宅前	10:02
				向平北バス停	10:03
				ふれあいセンター	10:05
ふれあいセンターから役場前	10:08	ふれあいセンターから役場前	10:24		
みちのく銀行前	10:09	みちのく銀行前	10:25		
農協前	10:12	農協前	10:26		
道の駅	10:18	道の駅	10:32		
ふれあいセンター	10:22	ふれあいセンター	10:36		

★ふれあいセンターからの移動で上記の場所へ乗降りができます。 お問い合わせ先  
★町内での用事や、買い物をして温泉利用も可能になりました。 よこはま温泉 TEL78-6531  
★帰りは、全地区ふれあいセンター（13：45出発）になります。 役場健康福祉課福祉G TEL78-2111（内線221）

## 温泉バス利用人数

- 温泉バスの利用は、10人から20人くらいだが道の駅利用者は昨年同様、0人から5人程。



▲役場での用事するために、送迎サービスを利用。

# 施策⑦ 災害時の受け入れ体制づくり



## 取組の方向性

- 道の駅エリア内の各施設において災害時の受入を想定して、必要な防災機能を確保する。
- 避難生活に対応できる備蓄を行う。
- 災害時に防災拠点としての機能できるよう、各施設間の連絡体制・受け入れ体制を構築する。

## 計画の内容

- 災害時の役割分担と防災機能強化
- 食料及び生活必需品等の備蓄
- 連絡体制等の構築

### ○昨年度の取り組み

- 駐車場拡張や防災除雪ステーションなどの整備に向けた、測量・調査・設計及び用地買収

### ○今年度の取り組み予定

#### ○防災機能の強化

- 防災除雪ステーション及び防災備蓄倉庫の詳細設計及び用地買収

#### ○連絡体制等の構築

- 地域防災計画見直しのため、横浜町など関係機関との調整

**事業進捗率**  
**8.5%**  
(H30末見込)

### 事業内容

## 道の駅よこはまエリア地方創生拠点のハード整備イメージ



### ○事業の概要

- ① 駐車場拡幅
- ② 休憩施設、トイレ
- ③ 防災除雪ステーション
- ④ 非常用電源設備
- ⑤ 防災備蓄倉庫

# 施策⑧ 防災訓練やPR活動を通じた防災意識の醸成

## 取組の方向性

- 災害時に地域が適切な対応ができるよう、防災訓練や意識啓発を行う。

## 計画の内容

- 道の駅エリアを活用した防災訓練
- 防災に関する意識啓発



最終目標年度：H32年度  
現在の達成度 70%

## ○昨年度の取り組み

### ○防災に関する意識啓発

#### ・横浜町総合防災訓練を実施

役場庁舎にて、初動訓練と、北地区（旧有畑小学校）にて町民参加型訓練を実施。

### 【初動訓練】

役場職員・消防署  
消防団の初動訓練



## ○今年度の取り組み予定

### ○防災に関する意識啓発

#### ・横浜町総合防災訓練を実施【継続】

役場庁舎にて、初動訓練と、大豆田地区（旧大豆田小学校）にて町民参加型訓練を実施。

同日、心肺蘇生とAEDの使用方法的の職員対象講習会を開催。

#### ・道の駅よこはま防災訓練を実施【継続】

社員の初動訓練を実施。

### 【町民参加型訓練】



▲避難誘導訓練



心肺蘇生・AED使用講習会



◀炊き出し訓練